

診断しが



ガーデンミュージアム「印象派画家に会える山の美術館」(大石孝太郎撮影)

令和5年 夏 号

一般社団法人 滋賀県中小企業診断士協会

目 次

会長挨拶	01
特集記事	02
令和5年度定時総会	02
kintone 導入について	03
令和5年度理論政策更新研修	05
診断実務従事に参加報告	07
プロコンステージアップ塾のお知らせ	09
委員会報告	09
研究部会報告	11
活躍する診断士の横顔	19
新入会員紹介	21
中小企業支援機関、各種団体、企業、行政の皆様へ	...	22
無料経営相談	22
事務局から会員の皆様へ	22



会長挨拶

滋賀県中小企業診断士協会 会長 田畑 一佳



中小企業支援機関や行政並びに金融機関の皆さまには、日頃から当協会の運営にご理解ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、令和5年度が始まり、日本経済は相変わらず新型コロナウイルスやロシアのウクライナ侵攻による経済状況激変に翻弄されている状況です。さらに、今年度には、いわゆるゼロゼロ融資の返済がはじまり、さらにこのゼロゼロ融資の借換え等も実施されていきます。

このような、国の施策の効果的な活用や資金繰り対策、さらに未来に繋がる事業計画策定など、中小企業診断士に求められていることは少なくありません。今こそ、経営に関する幅広い知識を持つ中小企業診断士の活躍が期待される局面であるといえます。

こうした中で当協会は、引き続き、認定支援機関として金融機関や各種経済団体及び地方公共団体と連携して経営改善計画策定支援事業等に積極的に参画する等、地域の中小企業・小規模事業者への支援及び地域課題に取り組みことで地域経済の活性化に貢献していきます。

また、上記の期待に応えるためにも中小企業診断士としてのブランドを強化していきます。そのために、プロコン・ステージアップ塾や各種研究会を通じて知識やスキルの向上に努め、コンサルティングの品質の向上に努めてまいります。さらに、協会内においてもDX化による業務効率化を推進するため、kintoneを導入していく予定にしております。

今年度も前年度同様に五つのC（①コア・コンピタンス、②コーポレート・ガバナンス、③チャレンジ精神、④カスタマーファースト、⑤CSR）を重視して、強いラグビーチームのように、会員相互が切磋琢磨してワンチームで仕事ができるよりよい組織づくりに努め、事業を遂行していく所存です。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



令和5年度定時総会

大石孝太郎

- 1 開催日時 令和4年5月21日(日) 15時30分～16時25分
- 2 開催場所 コラボしが21 3階 大会議室
- 3 出席者
 - (1)出席会員数 30名
 - (2)委任状提出者数 48名
 - (3)議決権行使書提出者数 33名
 - (4)総会員数 130名



令和5年度定時総会は、会員総数130名、うち出席会員数30名、委任状提出によるもの48名、議決書行使書提出によるもの33名で、総数111名の出席を得て、行われました。

ご来賓として、滋賀県商工観光労働部中小企業支援課 原田課長様からお言葉を頂きました。続いて、20年永年会員功労賞として、堀池宏志氏が表彰されました。



議案審議は、予定された第1号議案「令和4年度事業報告」、第2号議案「令和4年度収支決算」、第3号議案「令和5年度事業計画」、第4号議案「令和5年度収支予算」が、審議され、いずれも滞りなく可決承認されました。



令和5年度 役員体制

●役員

会長	田畑一佳				
副会長	大石孝太郎	西村剛史			
専務理事	鐘井 輝				
常務理事	山本邦博	岩崎弘之			
理事	田中清行	佐々木武	松島明男	西谷弘士	河原進吾
	山口智之	磯野研	山元岳司	奥田謙一	

監事	下村裕彦	山本善通
----	------	------

相談役	大岡敏孝	廣田光政
-----	------	------

●常任理事会

常任理事会	田畑一佳	大石孝太郎	西村剛史	鐘井 輝
	山本邦博	岩崎弘之	下村裕彦	山本善通

当協会における kintone 導入について

DX 研究部会 幹事 堀江 明

滋賀県中小企業診断士協会では、協会のコミュニケーションツールとして、令和5年9月よりローコードツール「kintone」を導入いたします。

kintone は、業務システムを簡単に作れるサービスとして多くの企業に導入されており、令和5年度より全国の中小企業診断士協会でも導入することとなりました。

導入の目的は次の4つです。







- ① 事務局業務の効率化
- ② 協会活動の可視化
- ③ 案件管理の効率化
- ④ 会員間のコミュニケーション活性化

当協会では、DX 研究部会が主体となり、ポータルやスペースの設定、アプリ作成、マニュアルの整備等を行ってきました。

実装するアプリは、会員への案内などに使える「メッセージ」、研究会などのイベント情報を一元化できる「カレンダー」、受託案件の募集を行う「募集案件」など、多岐に渡ります。



共通アプリ一覧

アプリ名	用途
 メッセージ	<ul style="list-style-type: none">✓ 会員同士のコミュニケーション (各会員)✓ 会員向け案内 (事務局)
 カレンダー	<ul style="list-style-type: none">✓ イベントの入力 (各会員)✓ 会員へのイベント案内 (各会員)✓ イベントへの参加申込み (各会員)✓ 次第、議事録等の格納 (各会員)
 募集案件	<ul style="list-style-type: none">✓ 受託案件の募集 (募集者)✓ 受託案件への申込 (応募者)
 稟議システム	<ul style="list-style-type: none">✓ 常任理事会への稟議 (各会員)✓ 決裁 (常任理事会)
 各種様式	<ul style="list-style-type: none">✓ 協会の様式を格納 (事務局)✓ 協会の格納をダウンロード (各会員)
 マスタ管理依頼	<ul style="list-style-type: none">✓ スペース・グループの作成等依頼 (各会員)✓ 対応結果の回答 (kintone管理者)

また、研究部会など特定のメンバーで作業をするための「スペース」機能を活用いただくことで、研究活動や受託案件の管理等をより効率的に進めることができます。

例えば、「お知らせ」欄では研究部会の特徴や新着情報を記載したり、特定の話題を深掘りする場合は「スレッド」欄を活用したりするなど、汎用性の高い機能が実装されています。



操作に慣れるまでは「使いにくい」と感じることも多々あると思いますが、業務システムは、使う人が増えれば増えるほど便利になります。

マニュアルも作成していますので、こちらを参照しながら積極的に kintone を活用いただければと思います。



自分たちで「すぐに」「簡単に」改善できることが kintone 最大の強みです。

もしも使いづらい点や追加してほしい機能などがありましたら、すぐに対応いたしますので、ご意見お待ちしております。

令和5年度理論政策更新研修

ものづくり研究会 とりまとめ役 磯野 研

滋賀県中小企業診断士協会が主催する理論政策更新研修を本年度は7月29日(土)の1回で実施し、126名に参加をいただきました。

コロナから日常への移行に鑑みて、マスクの着用は個人が自主的に行うこととしました。また、演習におけるワークは個人のみとし、グループワーク(ディスカッション)は実施しませんでした。



研修日程 (令和5年7月29日(土) 12:40~17:00 コラボしが 21 3階大会議室にて)

時間(時間数)	科目名	講師 職・氏名
①12:40~13:40 (1)	新しい中小企業政策について 滋賀県の中小企業・小規模事業者支援施策について	滋賀県商工観光労働部 中小企業支援課 課長 原田智弘 氏
②13:50~15:20 (1.5)	中小企業のデジタル化支援 (販売促進事例) ※個人ワーク	宗永堂 代表 杉中伸安 氏 Isono Revitalizing Office 合同会社 代表社員 磯野三知恵 氏、磯野研 氏(中小企業診断士) 中小企業診断士 滝本勝 氏 MKEIL(エムケイル)コンサルティング 代表 望月啓司 氏(中小企業診断士)
③15:30~17:00 (1.5)	「中小企業のデジタル化支援」 (管理レベル向上事例) ※個人ワーク	双和電機株式会社 取締役社長 宮下晋哉 氏 中小企業診断士 生田光輝 氏 千織技術経営コンサルティング代表 谷口賢 氏(中小企業診断士・技術士・MBA)

第1講では、『新しい中小企業政策』について、滋賀県商工観光労働部中小企業支援課の原田氏より以下内容の支援施策を発表いただきました。

1. 滋賀県中小企業活性化の推進に関する条例(活性化条例)に基づく施策の推進
2. 活性化条例の10年間と今後の取り組みの展開について
3. 事業承継、開業資金等のサポート、経営革新支援事業等の推進



第2講では、『中小企業のデジタル化支援(販売促進事例)』について以下内容を発表いたしました。

1. デジタルトランスフォーメーションを活用した販売促進事例(滝本氏)

後の講義全体の解説として、デジタルトランスフォーメーションの定義や小規模事業者向けに求められる支援内容、当日紹介する事例が意図している点について、滝本氏から簡潔に解説をいただきました。

2. 仏壇製造販売事業の再構築-越境 EC を活用した金継ぎ作品の海外販売(宗永堂・杉中氏、Isono Revitalizing Office 合同会社・磯野三知恵氏・磯野研氏)

滋賀県長浜市で仏壇製造販売事業を営んでいる杉中氏と Isono Revitalizing Office 合同会社が共同で、越境 ECを通じて海外とのつながりを深めていかれた経緯について講義をいただきました。受講された方からは、「長浜近辺の小規模事業者で越境 EC を行っている例を聞いたことがない。東京でも京都でもない、長浜にこんなにもたくさん海外からお客様がお越しいただくということに勇気づけられました」とのコメントをいただきました。

その後、個人ワークとして、お客様へヒアリングすべきアンケート項目について、望月氏から課題をいただき、適切に解説をいただきました。

第3講では、『中小企業のデジタル化支援(管理レベル向上事例)』について以下内容を発表いたしました。

3. IT・IoT 化の取組(双和電機株式会社・宮下氏、生田氏)

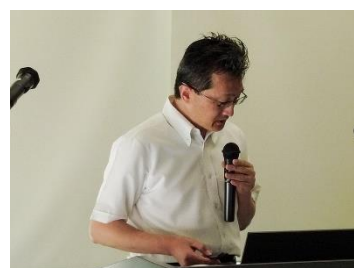
プリント基板の受託製造を超多品種少量生産されている双和電機株式会社の事例を宮下氏から紹介いただきました。自動倉庫システムを起点に社内システムを内製化された過程は圧巻でした。実際にユーザーとして双和電機株式会社と関わっている生田氏から、顧客目線でのメリットと個人ワークについて課題と解説をいただきました。

4. 原価管理を題材にしたデジタル化支援の実例(谷口氏)

中小企業診断士がIT導入の前整理としてなにをしなければならないのかについて、課題抽出と全体設計の観点から実際の支援事例について講義をいただきました。

■アンケート結果(126名中98名回答)

- ・受講者の職種は経営コンサルタントが41.8%(会社勤務含む)、民間企業が31.6%、支援機関・公務員が16.3%でした。
- ・研修内容集計結果は、「大変役に立つ」と「ある程度役に立つ」が、第1講62.2%、第2講90.8%、第3講90.8%と、総じて好評でした。



診断実務従事参加報告

西村 剛史

昨年度は京都市伏見区の老舗菓子製造小売業の診断を指導員として担当しました。参加者の皆様、大変熱心に取り組み、良い報告書を作成いただいたのではないかと思いますし、診断企業さまの満足度も高かったのではないかと思います。以下、当班メンバーの声を掲載しておきます。



高崎 直樹(担当:経営戦略 リーダー)

製造技術に優れ、看板商品のお菓子は大変おいしく感動しました。取引先からの評価も高い企業様で、事業規模も大きくて久しぶりに診断でやりがいを感じました。報告書を通じて、新商品の開発だけでなく、営業や社員の処遇、財務体質の改善にも今後注目して取り組んでいただければ幸いです。

松村 博幸(担当:財務分析)

今回の企業様は中小企業としては規模が大きく、ある程度の経営資源を持たれており、コロナ後の観光需要に対応した商品戦略の理論的な後押しと、それに必要な施策の提言を行いました。企業様にも丁寧に対応いただくほか先生やメンバーの皆様にも多くの知見をいただき、大変有意義な実習でありました。

橋詰 雅人(担当:マーケティング)

今回は老舗の菓子製造業の新規分野への進出に関係したマーケティングを中心に提案させて頂きました。少しはお役に立てればと思っています。

原 哲郎(担当:生産管理)

今回の実務実習は菓子製造の老舗で比較的大規模な会社を対象に実施したもので、製造ラインも複数あり新規事業にも取り組んでおられました。製造業の基本的なところは既に取り組んでおられ、それ以上の提案をする必要がありなかなかやり甲斐のあるもので、こちらも得るもの大きい実習でした。

山中 あす香(担当:労務)

複数の経営陣の方にお話しを伺えたことで共有する情報のブレが少なかったように思います。若年労働者の傾向や近年のハローワーク求人についても学ぶ機会をいただき、得るものが多かった実習でした。

2023年 診断実務従事参加報告2

栗東グループ指導員 鐘井 輝

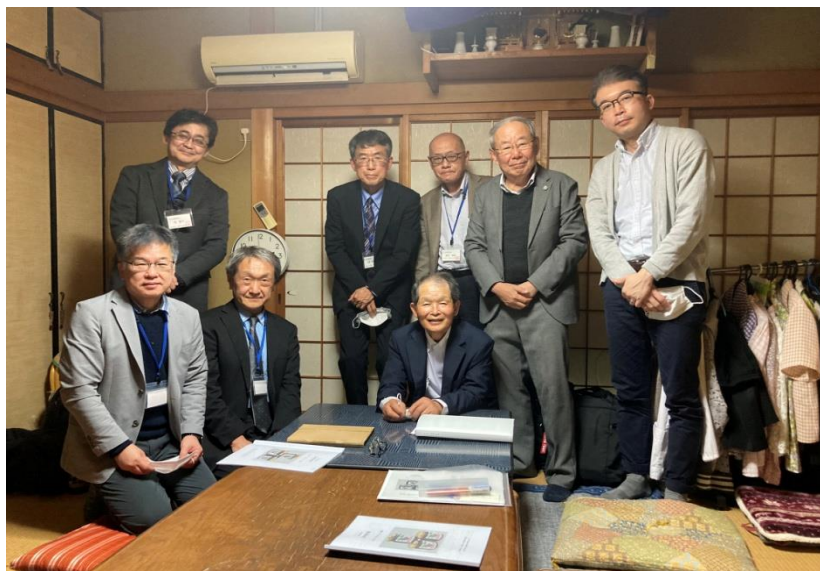


「アグリノ郷 栗東」でのジャムの販売

令和5年1月14日～3月26日にかけて栗東(滋賀湖南エリア)の実務従事事業を実施しました。診断先はご子息2名と家族経営されている專業農家です。副指導員の河原進吾先生も含め、8名での当事業への取り組みでした。

今回は基本経営戦略、財務分析、経営管理、マーケティング、事業承継マネジメントについて提言するための調査分析を行いました。特に当農家では年間300種以上の野菜、果樹、花卉の栽培を14か所の約1.5町(15,000㎡)の土地で栽培されています。農作物栽培に止まらず、イチジクジャム、桑の実ジャム、桑の葉茶等の加工品生産にも取り組まれています。

事業活動の特徴を踏まえた上で以下の点などをアドバイスさせていただきました。事業承継の前提となる農作物栽培の基礎データ整備のための「農業日誌」の採用、今後力を入れて栽培すべき「フラッグシップ商品」の提案、現在急拡大中の「ふるさと納税」市場への参入、ブランドを強化するための新たなパッケージや新たな加工製品の提案、事業承継の準備及び将来の法人化に向けてのスケジュールなどがその内容となっています。



代表者への診断報告会実施(代表者自宅)

第7期 プロコン・ステージアップ塾のお知らせ

プロコン・ステージアップ塾事務局 堀江 明

滋賀県中小企業診断士協会では2017年から毎年プロコン・ステージアップ塾を開催しています。第7期を迎える今年は、塾生募集から3日間で5名の方から応募があるなど、年々注目度が高まっています。

本塾の特徴は次の4つです。

- ① 第一線で活躍するコンサルタントが必要なスキルとマインドを徹底指導
- ② 少人数制により、あなたの商品やキャリアプランを徹底的に磨き上げ
- ③ 当塾の仕上げに一人で企業訪問する経営診断を実施して稼ぐ力を獲得
- ④ 毎回講義後に懇親会を開催。講師・同期生とのつながりが貴重な財産に

卒塾生は20名を超え、皆それぞれのフィールドでご活躍いただいています。

本誌発行時にはすでに定員を超えているかもしれませんが、ご関心のある方はぜひお問い合わせください。



委員会報告・計画

組織体制委員会

西村 剛史

昨年度は引き続き、会員増強はもちろんのこと、e-learning によるコンプライアンス研修の受講を徹底することによりコンプライアンス強化に取り組みました。今年度も新入会員を中心にe-learning によるコンプライアンス研修の受講を徹底していきます。

また、働きやすく、集まりやすい環境の整備のために、7月に事務所の書類整理を実施した他、事務所の内のレイアウト変更にも取り組み、より多くの会員のみなさまが集まりやすいようにしました。

他に企業内診断士の方々の要望もあり、当協会では初となる企業内診断士交流会も発足します。

当協会の会員数も130名を超えてきました。会員増加に伴う組織体制の見直しも検討していきたいと考えています。

厚生委員会

鐘井輝(委員長) 西村剛史、稲田忠夫、山本善通、仲西貞之、河原進吾、稲田忠夫
岩崎弘之、下村裕彦、森部修、島渕裕一、山本邦博、古澤 智



7月13日(木)多羅尾カントリー倶楽部

2023年上期ゴルフ交流実績

3月16日(木)メイプルヒルズゴルフ倶楽部	参加者10名	優勝者松田安正氏
4月26日(水)京阪カントリー倶楽部	参加者12名	優勝者岩崎弘之氏
5月22日(月)甲賀カントリー倶楽部	参加者10名	優勝者西村剛史氏
6月13日(火)近江カントリー倶楽部	参加者12名	優勝者西村剛史氏
7月13日(木)多羅尾カントリー倶楽部	参加者 7名	優勝者田畑一佳氏

なお、5月22日は第五回滋賀県中小企業診断士協会会長杯として実施しました。

8月24日(木)は信楽カントリー倶楽部で実施します。皆様のご参加をお待ちしております。



5月22日(月)会長杯(甲賀カントリー倶楽部)



DX研究部会

活動目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 本研究会は、中小企業診断士のDX支援スキルを向上することで支援先企業の利益向上に貢献することを目的に活動しています。 ● DX支援に役立つスキル・ノウハウを会員同士で惜しみなく共有することで、全体のスキルの底上げを図ります。 ● また、DXは業務のオンライン化、業務プロセスの自動化、SNSを活用した顧客との関係強化など、そのツールも多岐に渡ることから、すべてに精通した中小企業診断士はいません。 ● そのため、研究会の活動を通じて各会員の専門分野を共有することにより、支援先企業にとって最適な支援が行える環境を作ること、私たちのミッションといえます。 		
開催日	原則 第2金曜日 18時半～20時	開催場所	原則 コラボしが会議室と Zoomによるオンラインとのハイブリッド開催
部会事務局	代表:岡本 香 幹事長:望月啓司 幹事:堀江 明		

1. ご挨拶

「DX研究部会」は2023年度1月に、事業者様目線の話題や、DXに知見のある講師をお迎えして講演頂く場を設ける等、肩肘を張らずに、日頃の支援に役立つ知識を得る機会を作ることを目的として、2022年度入会の有志にて立ち上げた新しい研究部会です。

会員の皆さまのお役に立てるよう活動してまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

2. 主な活動内容

会員によるITツールの演習・外部講師による講演

<会員による演習>

より身近なITツールを学べるだけでなく、講演を行う会員にとっては得意なスキルをアピールする場にもなります。

<外部講師による講演>

デジタル庁職員による「DX政策の動向」やITベンダーによる「具体的なツールの解説」など、様々な切り口で研究を深めることでDX支援を立体的に理解することができます。

また、研究部会員には、DX関連ニュースやセミナー・イベントのお知らせなど、便利な情報を研究会用不定期に配信しています。

3. 活動実績と今後の活動予定について

発足後間もないため、現在は研究活動を中心に行っていますが、今後は受託事業の獲得も積極的に行う予定です。

現状を知り、ITツールを知り、どのように活用できるかを知ることを通じて、支援先の社長様に喜んでいただくキッカケ作り、知っているつもりでなくいかに使いこなせるか、IT活用による働き方改革に取り組んでいます。

気になるテーマだけの参加。普段使っているITツールの勉強会をしてもいいよという方大歓迎です。会員の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

<ご参考>

令和5年6月に滋賀県の中小企業診断士協会員の皆さま宛に「ChatGPT等の利用状況」についてアンケートを実施しました。

結果は33.8%の高いご回答を頂戴しました。令和5年10月以降(予定)に上記のアンケートを基に勉強会を予定しております。ご協力頂きました会員様には、改めてお礼申し上げます。

ご回答された会員の約8割がChatGPTを利用されたことがありましたが、今後、会員の皆様の生産性の向上、合理化はもちろんのこと、事業者からAIツールも含めたDXへのニーズがますます増えていくと思われれますので、幅広く、前向きに活動いたします。

まずは、下記3点を中心に進めて参ります。

<当面の活動方針>

- ①専門家(会員)による講演(AIの比較・使い分け・使い方等)
- ②会員によるワークショップ(高度な使い方演習、プロンプト集作り等)
- ③生成AIを活用したアプリ開発やサービス提供企業による講演

企業内診断士交流会

戸取 正明

滋賀県中小企業診断士協会では近年、企業内診断士会員が増えており、全会員の4割を占めるほどになりました。

そのようななか、「企業内診断士間の交流が出来る場が欲しい」、「企業内診断士がもっと活躍できる場が欲しい」との声があがっていることから、田畑会長にご助言を賜り、企業内診断士交流会を立ち上げることとなりました。

「企業内診断士」と一口に言っても、診断士としての活動は多種多様で「報酬を伴う活動をされている先生」、「業務に支障の無い範囲で研究会等に参加して研鑽を積まれている先生」、「ご自身が所属の企業や組織で診断士としての知見を活用されている先生」、「これから何らかの活動を始めたいとお考えの先生」等々、様々な状況と存じます。

以上の事情より、まずは企業内診断士同士の交流と情報交換を図る目的で、顔合わせと懇親の場を設けることから始めさせていただきたいと思っておりますので、まずは気軽に参加をお願いします。

※現時点で検討している運営内容(年5~6回程度の開催を想定)

- ・当協会の各種事業・研究会・部会のご紹介(代表をされている先生との意見交換)
- ・当協会でご活躍されている先生方からの講和と意見交換
- ・当交流会に参加の先生からの発表(テーマは自由)

【今後の運営についてのご意見、ご要望についても賜りたく、よろしくお願い致します】

事業再生研究部会

リーダー：田中 清行 :山元 岳司

1.研究部会の目的と活動内容

研究部会の目的は、経営資源が乏しいこと等で業績が思わしくなく苦勞されている中小零細企業の事業再生や経営改善を支援するスキルを身に付けることです。

活動内容は、当協会が滋賀県信用保証協会から受託している「経営安定化支援事業」ならびに「創業支援強化事業」の実践および事例共有と意見交換等による相互研鑽です。

具体的には、本研究会参加の診断士が、企業の経営診断等を行います。その際に、実務経験の浅い診断士は副担当として入り、経営診断等の基礎となる実践経験を積みます。その後、主担当として実践現場でさらに経営診断等の能力を磨きます。

実践する経営診断等は以下のとおりです。

- ・経営診断(経営改善コース、事業承継コース、生産性向上コース、チャレンジコース、創業支援コース、フォローアップコース、創業フォローアップコース、IT入門コース)
- ・経営改善計画策定
- ・生産性向上計画策定

事例共有と意見交換等は、守秘義務順守の下、経営診断等の事例を担当した診断士が毎月3件発表し、これを題材に活発に意見交換して相互研鑽しています。書物や個人活動からだけでは得られにくい、実践的な経営診断スキルや経営支援の知見・能力を磨き上げることができます。

新型コロナウイルス感染症の拡大で、飲食業、宿泊業のみならず卸・小売業、運輸業、製造業等も売上の大幅低下を余儀なくされて窮境に陥り、国の金融施策等によって急場を凌いでいた企業が多い状況です。いまだ新型コロナの経営への影響が残る中で、増加した借入金の返済を開始している企業もあり、国も新たな信用保証制度(コロナ借換保証)を開始するなど対応を図っています。これらに対応するために経営改善計画等の策定要請が増加すると考えられます。本研究部会に参加することで、その経営改善計画策定支援等を学ぶ絶好の機会を得られます。

2.令和5年(1月～6月)の活動状況

毎月1回(第3水曜日夜)、「コラボしが 21」3階会議室で研究部会を行っています。新進気鋭の若手会員からベテラン会員まで毎回20名余の研究部会メンバーが、各自の診断手法を披露し、活発な議論を行っています。



	令和5年前半期の経営診断/経営改善計画策定発表者と発表事例
1月	三木正博「家具小売業」、田畑一佳「窓用ブラインド製造業」
2月	槌田昌子「クリーニング業」、岩崎弘之「飲食業」、川島康史「建設業」
3月	三木正博「運送業」、栗田一人「自動車部品販売業」、佐々木武「機械製造業」
4月	岩崎弘之「飲食業」、山元岳司「管工事業」、武田篤志「木製建具製造業」
5月	松山茂樹「測量設計業」、井上稔「酒造業」、栗田一人「エステサロン」
6月	三木正博「保健衛生業」、川副郷一郎「生花店」、加瀬秀樹「飲食業」

しが観光経営研究会

活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 定例会(担当者より研究事例の発表並びにダイアログの実施、部外専門家を交えた勉強会の実施) ◆ 現地視察(旅産業において画期的な取り組みを行う事業者を中心に、県内・県外各地にて視察研修を実施) ◆ 滋賀県内観光業の経営支援 		
開催日	原則第4木曜日 19:00～	開催場所	コラボ滋賀 21 内 (視察は各地にて)
代表者	岩崎 弘之	連絡先	090-1134-5745 iwasaki-h@vitaconsul.com

中小企業診断士目線での観光マネジメントを学ぶ

政府の「観光立国」の旗印のもとで、我々滋賀県を中心に活動する中小企業診断士が、診断士の強みである、「幅広い視野」と「他府県にまたがる豊富な人脈」「様々な職歴」を活かし、戦略策定、マーケティング、販路拡大、IT 化、観光人材育成、地域ブランド開発等、あらゆる面から滋賀県の観光発展をサポートし、全国においても注目される地方創生事例を産み出すことを目的に活動しています。

また、季節毎に滋賀県内の観光地視察や、親睦目的のエクスカージョン(登山やハイキング、お花見、小旅行など)も開催しています。メンバーの約半数が企業内診断士である緩やかな研究会です。地元観光業界を支援したいと思う方、エクスカが好きな方 Let's join us !

7月22日開催「蓬莱山登山&びわ湖テラス見学会」報告

今夏は、滋賀県の比良山地中部に位置し「日本三百名山」に数えられる蓬莱山(標高1,174M)を登りました。琵琶湖の西側にそびえる雄大な山容が特徴で、琵琶湖国定公園にも指定されています。山頂では、滋賀県で最も人気の高いスポットの一つとなった「びわ湖テラス」で、雄大な琵琶湖の絶景に癒されました。

下山後は、雄琴温泉「スパリゾート雄琴あがりゃんせ」で汗を流した後、慰労を兼ねた夕食会(焼肉)を開催しました。

参加者からは、「灼熱の太陽のもと、おもったより手ごわい山でしたが、下山後のサウナとビールは最高でした！」との声が聞こえ、初夏の心地よい1日、日頃の疲れを癒し、リフレッシュされたようでした。



飲食業 口福繁盛研究会

活動概要	① 定例会(担当者や外部専門家による研究テーマや事例等発表、情報交換、懇親会) ② 滋賀県飲食業・食品製造業の支援 ③ 繁盛店/苦戦店の共同視察、支援ツールの試用及び改善 ④ 飲食業専用支援ツールの作成、ノウハウ・事例共有		
開催日	原則第4水曜日 18:30	開催場所	コラボしが 21(視察は各地)
代表者	奥田 謙一	連絡先	Kenichi.024@gmail.com

飲食業 口福繁盛研究会とは

当研究会は、2020年の4月に立ち上げられました。この時点から、コロナ禍等により世の中の動きは急速に変化し始めました。特に、当研究会が主要な対象としている飲食業に対する影響は大きく、深刻なものとなりました。そのため、この時期の飲食業への支援強化策を確立することが、当研究会の社会的な使命であると考え、常に変わる社会情勢や国の対応策を観察しながら、最善の支援策を研究しています。

活動内容と今後の予定

ポストコロナの現在、当研究会では積極的なリアル開催と視察を通じて、飲食業・食品製造業の研究と支援に力を入れています。コロナ禍からの脱却を目指し、県内外の飲食業・食品製造業などを幅広く視察するテーマを設定し、企画しています。

また、研究会の後には必ず懇親会を開催し、参加者とのコミュニケーションを深めながら、店舗視察や店舗支援を行っています。これにより、具体的な問題点や改善策を把握し、産業全体の成長と発展に貢献したいと考えています。



しが観光経営研究部会・DX研究部会
との合同視察・忘年会



小規模食品工場視察

今後の視察予定は以下の通りです。

- 8月30日(水) 18:00～ 視察・懇親会(石山寺湖舟様で滋賀県特産品を食す)
- 11月25日(水) 18:30～ 視察・忘年会(開催場所未定)

地域経営研究会

リーダー:佐々木 武

1.研究会の目的とビジョン

“Creating Shared Value”

当研究会は、持続可能な地域経済・社会・環境の実現に向け、地方自治体や地域支援機関とのパートナーおよび、滋賀の“地域創生支援プラットフォーム”として、地域経済特性や産業構造を俯瞰的に分析し、地域資源を活かした「地域経営(地域と企業)」支援の実践研究を行っています。

2. 令和4年度研究会開催実績

・延べ実施回数 10 回、延べ参加人数 118 名

3.令和5年度の活動状況

「マクロとミクロで考え、新たな価値と豊かな地域を創造する」

診断士の企業現場の課題を解決するという強みを活かしながら、マクロとミクロ両面の視点から地域と企業の経営支援ができる唯一の研究会です。昨年度末からリアル開催・懇親会も行っていきます。今年度は地域創生事例の現場視察も再開する予定です。また、大阪府中小企業診断協会・観光サービス経営研究会との連携・相互参加も推進しています。

第 67 回 オンライン	4 月	野洲市の地域経済動向調査分析報告 東近江市との地域人材の活性化への取り組み	栗田会員、北村義 会員、若岡会員
第 68 回 オンライン	6 月	地域経営研究会の取り組みと展望	佐々木武会員
第 69 回 オンライン	7 月	特別講座 地域企業支援者必見！新卒採用市場 の現状と採用に纏わる様々な事例	株式会社そだてる 屋木孝之様
第 70 回 オンライン	8 月	長浜市公共施設「森林体験型総合リクリエーショ ン・宿泊施設」の経営診断報告	佐々木武会員

【活動の様子】



左：リアル会議の様子（懇親会も併催）
右：オンライン会議の様子（若岡会員の報告）

4.主な実践活動

- ・調査研究事業「東近江市・地域人材採用活性化マーケティング」
若岡（リーダー）、栗田、伊東、北村、佐々木（事務局）
- ・受託事業「本町商店街伴走支援(面的地域価値の向上・消費創出事業)」

佐々木、若岡、上杉、栗山

- ・受託事業「長浜市公共施設譲渡検討支援(施設運営状況分析報告書)」
田畑、栗田、若岡、伊東、望月、上杉、森本、佐々木(統括)
- ・受託事業「野洲市地域の経済動向調査分析報告書」:栗田、北村、佐々木(事務局)
- ・長浜市住民まちづくり事業審査会への参画:佐々木
- ・サステナブル高島ネットワーク会議への参画:佐々木

5.お問合せについて

「地域ブランドや特産品の開発、新市場開拓マーケティング支援」、「創業や地域人材活性化・採用マーケティング支援」、「アントレプレナーシップ教育やイノベーション人材育成支援」、「地域牽引企業の創出やまちづくり支援」など、地域経営の活性化課題の解決に取り組む自治体や経済団体、商店街、支援機関、教育機関のみなさま、ぜひお問い合わせください。

【野洲市 地域の経済動向調査分析報告書】

【本町商店街の面的価値創出事業伴走支援】



<https://yasu-cci.or.jp/topics/archives/839>

ものづくり研究部会

磯野 研

活動目的	ものづくり研究会は、滋賀県製造業の価値向上を目指して日々活動しています。お客様の期待を超える解決策を設計情報に込め、モノとして具体化した上で販売するという製造業のあり方は、旧来型の工場を中心としたものづくりイメージと大きく異なります。 滋賀県は全国的にみても製造業が集積しており、製造業のお客様とお話することが多くあります。一方、製造業支援には専門性が必要であり、多くの公的支援機関では支援に限界があります。そのため、中小企業診断士の専門性を活かせる場面が多くあります。 ものづくり研究会は会員同士で新しいものを積極的に学ぶ姿勢を大切にしています。ものづくりならではの価値づくりから、具体的な支援手法を学びませんか？		
開催日	原則 第3金曜日18:30～	開催場所	原則Zoom開催(月1) + ツールを用いたチャット(随時)
代表者	磯野 研	連絡先	077-515-2918 ken@isono-revitalizing-office.jp

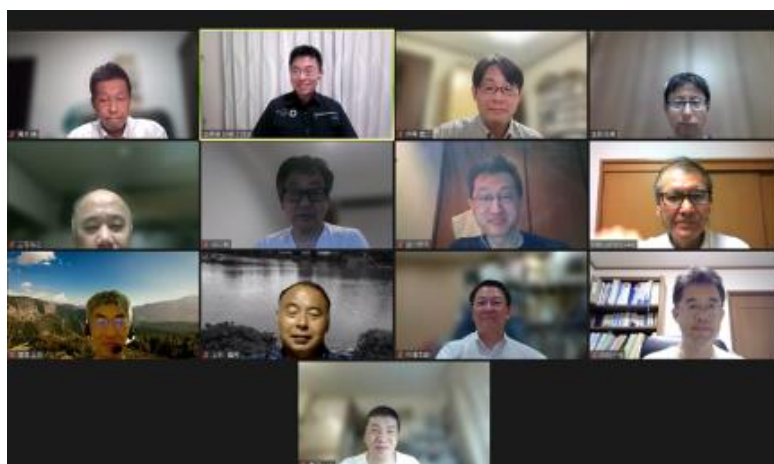
【こんなことをしています】

Zoomでの開催がすっかり定着し、出席が楽になったと評判です。普段はチャットツールを用いて情報交換をしています。なお、滋賀県中小企業診断士協会でのkintone導入に伴い、チャットツールをDiscordからkintoneへ変更予定です。

半年に1回は懇親会も企画し、リアルなコミュニケーションも楽しく実施しています。新入メンバーの自己紹介も気軽に行える雰囲気を目指しており、多くの方にご自身の方向性を知って頂くことが可能です。

最近では補助金を始め、様々なコンサルティングの悩み事をメンバー間で議論する時間を設けています。委託事業を含め、研究会で実施できるプロジェクトも検討中です。自分自身で伝統工芸品の製造・越境EC販売事業を始めたメンバーもおり、将来は事業者になりたいという方も歓迎です。

フラットで自由な雰囲気を心がけておりますので、試しに出席してみたいな、という方は磯野宛にご連絡ください。





出会いと活動は繋がっていく

一般社団法人リタワークス 堀江 明

2019年に診断士資格を取得し、2022年に当協会に入会して以来、様々な経験を積ませていただきました。どのように人と出会い、活動してきたのか、入会から今までを振り返ってみます。

入会した5月に初めて事業再生研究部会に参加し、田中先生と磯野先生に出会いました。このことがきっかけで、翌週には連絡があり、磯野先生のサブとして初めて経営安定化支援事業をお受けすることとなりました。同事業は、その後サブ5件とメイン2件を経験しています。

その際、出会ったメイン担当の一人が岩崎先生です。岩崎先生と出会ったことをきっかけに観光研究会に参加した結果、同研究会で「人材確保支援」に関する発表をする機会をいただきました。さらに、同研究会が担当するデジタル集客に関するセミナーを担当しないかとお声掛けいただき、セミナー講師も初めて担わせていただきました。

少し時間をさかのぼりますが、入会した5月に開かれた総会では、懇親会にて席が隣になった栗田先生と出会いました。栗田先生との出会いは、プロコン塾への参加に繋がります。9月に開始した第6期プロコン塾では、新たに田畑先生を含む講師陣や、同期生の岡本さん、望月さんとの出会いがありました。このことが、2023年1月のDX研究部会の立ち上げに繋がっています。皆様もご承知のとおり、DX研究部会の活動は、kintone導入プロジェクトに繋がります。結果、2023年7月には常任理事会と理事会、8月には全会員の前で話す機会をいただき、多くの方に名前や得意分野を知っていただくことができました。このことも何かしらの活動に繋がっていくのだろうと予感しています。

プロコン塾には、さらに2つの繋がりがありました。一つは、実習先の企業から事業再構築補助金の支援依頼があったことです(本件は第9回公募で採択されました)。また、第7期プロコン塾事務局に指名いただき、新たな塾生と出会うきっかけもいただくことができました。

再度時間をさかのぼりますが、2023年2月に受託案件として、「学習塾」の創業ハンズオン支援の担当者募集がありました。その際、①経営安定化支援事業で「学習塾」を経験していたこと、②観光研究会でセミナー講師を経験していたことから「自分ならできる」と思い手を上げた結果、支援を担当することができました。おそらくですが、田畑先生とプロコン塾で出会い、為人を知っていただいたことも影響したのではないかと考えています。

このように、何気ない活動や多くの方との出会いをきっかけに、経営安定化支援事業(経営診断)、セミナー、補助金、創業支援など、1年間で様々な経験をさせていただきました。

実は、他にも多くの方から御支援いただいたのですが、紙幅の都合により皆様の名前を挙げることはできません。改めてお出会いしたすべての方に御礼申し上げます。

〈プロフィール〉

2009年から大津市役所、2018年から滋賀県庁に勤務し、労働雇用行政などの経験を経て、2022年に一般社団法人リタワークスを設立。

得意な業界は、女性や子どもがターゲットのサービス業全般。

得意な支援は DXと人材確保。ローコードツールを用いたDX推進により、マーケティングや業務効率化を支援します。また、人材確保や定着に関する支援も可能です。お気軽にお問い合わせください。



中小企業の挑戦をDX(デジタル技術)で支援する！

MKEIL(エムケイル)コンサルティング

代 表：望月 啓司(もちづき けいじ)

ホームページ：<https://m-keil.com/>

保有資格：✓国際認証MBA✓1級販売士(登録講師)

✓LINEコンサルタント✓管理業務主任者✓宅建士 etc

得意分野：LINEを活用した販売促進と業務の自動化、標準化

業 種：飲食業、農業



【プロフィール】

静岡県浜松市出身、大津市在住。約20年間、金融システムの業務改善に従事。要件整理をはじめ、業務の標準化、コンタクトセンターの立ち上げ、ソリューション導入、グループウェア全社統合、全社IT予算管理など、現場目線を忘れず幅広い分野を経験し、独自ノウハウを培いました。

【滋賀県中小企業診断士協会入会時に決めたこと】

昨年4月に診断士協会に入会。入会当初は誰一人知らない状況でした。そのため、入会時にやるべきことを3つ決めました。①すべての研究部会に参加すること。②研究部会で勉強会を最低3回開催すること。③プロコン塾を卒業することです。結果、①番は、稼働している10個の研究部会へ参加。累積参加回数も50回を超え、自分の存在を知ってもらうことができました。②番は6回の勉強会を開催し、何を得意としているか知ってもらうことができました。③番のプロコン塾は6か月にわたり学んだ田畑塾長をはじめとし、先輩診断士とのコミュニケーションの幅が広がりました。

【3つのやることを実践した結果】

特に同期でありプロコン塾メンバーの岡本さん、堀江さんとの出会いは、DX研究部会を発足する契機となりました。DX研究部会の発足において、田畑会長にご尽力いただきました。また、各研究部会に真摯に取り組んだ結果、保証協会の支援依頼をはじめ、外部セミナー依頼、商業高校講師依頼、LINEセミナー開催依頼など多くのお誘いをいただきました。各研究部会のリーダーである田中先生、岩崎先生、佐々木先生、松島先生、奥田先生、磯野先生においては、理論政策更新研修会に参加する機会をいただきました。この場をお借りし御礼申し上げます。

【今後の展開】

中小企業の挑戦をDX(デジタル技術)で支援する！取組みを、DX研究部会の活動を通じて、IT領域に絞り込み専門領域の幅を広げていきたいと思っております。起業される方には、「創業支援DXパッケージサービス」、企業の成長ステージや業務特性に合わせて、どのようなソリューションに切り替えれば効率化できるのか、実践を通じて専門性に磨きをかけていきます。最後に私が大切にしている3つの言葉を紹介します。「損して得取れ、一期一会、捲土重来」です。詳細は割愛しますが、私の座右の銘です。皆さんの座右の銘はなんですか、今度教えてくださいね。



新入会員紹介

氏名: 上杉 嘉邦(うえすぎ よしくに)

住所: 京都府長岡京市奥海印寺山田 17-18

連絡先(電話): 090-2595-1477

連絡先(メール): kamigaari@gmail.com

事業内容: 経営相談、経営診断、経営戦略構築、創業支援、事業承継、補助金申請支援、BCP 策定支援

専門分野情報: 医療、介護、観光、地域支援



はじめまして、京都府長岡京市在住の上杉嘉邦と申します。滋賀県の協会は研究熱心で診断士同士の交流が盛んなことを伺い、入会致しました。2023年1月に独立したばかりで、勉強不足、力不足などございますが、ご助言・ご支援等賜りましたら幸甚です。滋賀県の発展に精一杯貢献したいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

氏名 中澤 太朗

住所 滋賀県大津市大江

専門分野 販売促進 商品企画デザイン



【中小企業診断士を志すきっかけ】

私は大津のデザイン会社に勤務し販売促進や商品企画を担当しています。仕事を通して、多額の広告宣伝費をかけても、商品やサービス、それを作り出す人や組織など「本質の改善」をしない限り、持続可能な経営は難しいと疑問を感じていた頃、この資格を知り受験を決意しました。

【診断士になって感じたこと】

実務補修や研究部会に参加して、自分の知見の無さを痛感しました。同時に、切磋琢磨できる場に参加できる喜びを感じています。これからも皆さまにご指導を賜るべく研究会等に参加し、研鑽を重ねたいと思います。よろしくお願いいたします。

氏名: 浅井 志郎 (あさい しろ)

住所: 滋賀県守山市

連絡先: TEL: 090-9448-6798 E-mail: shiro.asai.1202@gmail.com

事業内容・専門分野等情報: 創業支援・データ活用による利益創出



起業したい方や小規模事業者の力になりたいという想いで、創業やデータ活用による利益創出のための伴走支援を行っております。大手上場企業の技術者出身。技術者として培ったデータ活用スキルを経営に活かして「2030年成長戦略」の策定を経験。また、妻の事業をサポートし、ゼロから会社設立までのノウハウを獲得。これらスキルやノウハウ(特にPower BIの活用)を活かした活動を開始しております。中小企業診断士としては令和4年度の合格。



中小企業支援機関、各種団体、企業、行政の皆様へ

当協会会員は、経営革新セミナー、創業塾などのセミナー、講演会、研究調査等の企画、実施まで責任を持って実行します。また、商店街などの中小の集積から個別企業まで、多くの業種の経営計画の支援や実務支援等を現場で行っています。企業内研修、団体研修、専門家の派遣等でも多くの実績があります。

当協会会員には、中小企業診断士だけでなく、弁護士、税理士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、ISO9000,14000 等審査員、情報システム、不動産鑑定士、など他の資格者も擁する人材の宝庫でもあります。

専門家とのマッチング、費用のご相談など、無料窓口相談で行っていますので、業界に関わらず広く経営に関することなら、お気軽にご相談ください。



無料経営相談

当協会では、平日の午後1時より午後5時まで、予約制で、中小企業診断士による無料経営相談を実施しています。経営者を始め、営業担当者や創業を考えている方、各種団体との連携を求めておられる方など、多くの方に安心して利用いただいています。

特定の分野での専門家をお探しの場合は、電話やメールでも、ご相談可能です。



会員の皆様へ

当協会のホームページでは、皆さまの専門領域や経歴等のプロフィールを「会員情報」として発信しております。内容をご確認いただき、最新情報の掲載にご協力をお願いいたします。原稿をお送りいただければ、ホームページ掲載の情報を更新いたします。

また、未掲載の方で、掲載希望の場合はお申し出ください。

令和4年度の1年間で、**更新登録申請時期を迎える正会員**の方へ。

該当される方には、要件充足の見込み等について、事務局より順次確認させていただきますが、ご不明な点等ございましたら、お早目にお問い合わせください。

事務局 小山敦美

■発行者：一般社団法人 滋賀県中小企業診断士協会

■住所：〒520-0806

滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21 4階

TEL: 077-511-1370 FAX: 077-511-1371

email: jsmeca25@jade.dti.ne.jp

HP: <http://shiga-smeca.net>

■交通：○京阪電車・石場駅より徒歩3分 ○大津駅からバス「びわ湖ホール」又は「商工会議所前」下車徒歩2分





(号外) 会員トピックス

当協会会員で、長く国際マーケティング研究部会の会長として、活躍されている鐘井輝会員が、下記のビジネス書を発刊されました。台湾におけるビジネス展開など、アジアにおけるビジネス環境や展開について多くの実戦経験を持たれている鐘井会員の最新刊ですので、ご案内させていただきます。

●新刊のご案内 2023年9月29日発売

海外ビジネス スタートの教科書

鐘井 輝・西河 豊 著

中小企業診断士として20年余り中小企業の支援を行うと共に幾つかの国での海外ビジネス支援やマーケティングサポートを行った経験を生かし、これからの海外ビジネスや企業、個人の国際的活動の基礎となる知識や情報、理論を実践的に解説した一冊。



◆目次

- 第Ⅰ章 近年のアジア市場の動向
- 第Ⅱ章 国際的ビジネス活動への参入
- 第Ⅲ章 インバウンドの動向と今後の対応
- 第Ⅳ章 フィジビリティ調査
- 第Ⅴ章 ビジネスの類型
- 第Ⅵ章 ビジネス参入時の異文化理解
- 第Ⅶ章 ビジネスの基本－世界標準（グローバルスタンダード）
- 第Ⅷ章 公的支援制度の活用
- 第Ⅸ章 先進事例紹介

◆著者紹介

鐘井 輝 (かねい あきら)

1976年 立命館大学法学部卒業
 1998年 同志社大学大学院経済学研究科応用経済学専攻
 博士課程前期課程修了
 2015年 滋賀県知事表彰（中小企業功労）
 2018年 藍綬褒章受章（中小企業功労）
 現在 一般社団法人滋賀県中小企業診断士協会専務理事、
 日台中小企業交流促進協会会長、ながはまグロー
 ルチャレンジ応援事業審査会委員、（公財）滋賀県
 建設技術センター 評議員、大津商工会議所小規模
 企業振興委員、大阪経済大学経営学部非常勤講師、
 びわこ学院大学非常勤講師
 主著 『国際マーケティング入門』（単著、三恵社）
 『マーケティングの諸問題』（共著、同友館）
 『マーケティングの歴史的視角』（共著、同友
 館）、『流通業態化への運動法則』（評言社）、
 『中小企業診断士試験6新規事業開発』（共著、評
 言社）、『コンサルタントによるマーケティング理
 論とマネジメント実践』（共著、エコハ出版）

西河 豊 (にしかわ ゆたか)

1984年 大阪外国語大学 中国語学部
 （現大阪大学 国際学部）
 1984年4月～2000年2月 金融機関勤務
 2000年 独立開業
 2016～2017年 大山崎町商工会会長
 2022年 株式会社西河マネジメントセンター 設立
 現在 西河経営・労務管理事務所、株式会社西河マネジ
 メントセンター代表中小企業診断士、社会保険労
 務士、経営革新支援認定機関、M&A支援認定機
 関、IT導入支援事業者
 主著 『補助金獲得へのロードマップ』『助成金獲得への
 ロードマップ』『待ったなし！外国人雇用』『非
 接触ビジネス推進と事業再構築』『事業再構築の
 教科書』『EX-CFOを使え！』『労務管理技
 術便覧』以上 三恵社

ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発売：株式会社三恵社 TEL:052-915-5211 FAX:052-915-5019
	冊	鐘井 輝・西河 豊 [著] 海外ビジネス スタートの教科書 232頁 / A5判 / ソフトカバー 定価 2,300円(税別) ISBN978-4-86693-847-9 C3034
ご注文は、JRCへ FAX：03 - 3294 - 2177(TEL：03 - 5283 - 2230) 株式会社 JRC 経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		

※取次配本はありません。